

中世都市「鎌倉」の内と外

講師＝^{カワノシンチロウ}河野真知郎 (本学文学部教授)
^{イトウマサヨシ}伊藤正義 (本学文学部教授) 他
 時間＝土曜日 10:30～12:00
 日曜日 10:00～16:00

スケジュール

- ① 4月25日 (土) 頼朝の伊豆配流
 本学文学部教授 ^{イトウマサヨシ}伊藤正義
- ② 5月10日 (日) フィールド・ワークⅠ
 (伊豆韮山―頼朝と北条の接点)
 本学文学部教授 ^{イトウマサヨシ}伊藤正義
- ③ 5月16日 (土) 鎌倉の境界
 前本学文学部講師 ^{フクダ マコト}福田 誠
- ④ 5月17日 (日) フィールド・ワークⅡ
 (鎌倉の東―称名寺・金沢文庫)
 前本学文学部講師 ^{フクダ マコト}福田 誠
- ⑤ 5月24日 (日) フィールド・ワークⅢ
 (鎌倉の西―江ノ島・遊行寺)
 前本学文学部講師 ^{フクダ マコト}福田 誠
- ⑥ 5月30日 (土) 禅と鎌倉一道元禅師の思想から
 本学文学部准教授 ^{シモムロカクドウ}下室寛道
- ⑦ 6月13日 (土) 鎌倉に運ばれてきた「もの」
 本学文学部准教授 ^{シユウダイヒデアキ}宗臺秀明
- ⑧ 6月20日 (土) 世界遺産と鎌倉の史跡整備
 本学文学部教授 ^{カワノシンチロウ}河野真知郎

※第2・4・5回目のフィールドワークは、現地集合・現地解散となります。歩きやすい靴、服装(雨天の場合は雨具)をご用意ください。また、昼食は各自でご用意ください。詳しくは、講座の中でご説明します。

受講定員＝30人
 受講料＝15,000円
 (拝観料・保険料込)

テキスト：プリントを配付します。
 参考書：『中世都市鎌倉・遺跡が語る武士の都』
 河野真知郎著(講談社学術文庫) ¥1,103(税込)
 [希望者のみ第1回受付で販売します。]

講座内容

中世都市「鎌倉」は、東国の武士たちが打ち樹てた「武士の都」でした。そこは鎌倉時代に首都であっただけでなく、その後、江戸時代にも古都として尊重されていました。現在、世界遺産登録を目指しています。今も町の地下には往時の遺構・遺物が埋もれています。書き記された歴史と、掘り出された物から、古都の実際を描き出し、さらに現地で実感する、オムニバス形式の講座です。

今年度は鎌倉市内だけでなく、外の世界とのかわりを新たな視点に加えました。

鶴見大学文学部文化財学科：文化財学は、歴史学・考古学・美術工芸学・分析保存科学など、幅広い分野にまたがるものです。本学文化財学科は、それらの文化財について「実物・実験・実体験主義」で総合的に学び、日本の伝統を受け継ぎ将来に伝えていくことを目指す学科です。

鎌倉市世界遺産登録に向けて：鎌倉の歴史的遺産は平成4年に世界遺産の暫定リストに掲載され、以後、鎌倉市では、学術調査や「鎌倉市歴史遺産検討委員会」による検討などを行い、世界遺産登録に向けた基本的考え方が平成16年5月「武家の古都・鎌倉」としてまとめられました。平成18年7月には「鎌倉世界遺産登録推進協議会」が設立されるなど、市をあげた世界遺産登録推進事業が進められています。